

地域の森の再生を目指して 第1回「君津イオンの森づくり」を実施しました 300名の参加者と1,800本を植樹

公益財団法人イオン環境財団(理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役)は、4月17日(土)に第1回「君津イオンの森づくり」を実施しました。

当財団は、森林の再生を目指し、2020年12月に林野庁の「モデルプロジェクトの森における森づくり活動」について、林野庁関東森林管理局と協定ならびに君津市と覚書を締結しました。

本協定に基づき、「君津イオンの森づくり」を推進し、計6,000本の植樹を実施するとともに植樹地の整備を行う予定です。

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のうえ、300名のボランティアの皆さまとともに植樹を実施しました。ヒメコマツや君津市の花であるミツバツツジをはじめ、千葉県に自生する17樹種1,800本を、2回に分け植樹しました。

今後は、君津市の子どもたちや地域ボランティアの皆さま、NPO・NGO等の多様なステークホルダーと連携し、植樹の他にも下刈りや苗畑づくりなどの体験を通じ、環境教育の機会を創出します。また、リモートセンシングの技術を活用した植樹後の森の状況を把握するための調査も含め、様々な環境活動を予定しています。

当財団は、次代を担う子どもたちに持続可能な地域と豊かな自然を引き継ぐため、地域との連携をさらに強化し、今後も植樹活動をはじめとする環境保全活動に積極的に取り組んでまいります。

記

<植樹概要>

日 時:	2021年4月17日(土) 10:00~11:30
	10:00~10:15 開会式
	10:20~11:00 1回目植樹 150名/900本
	11:00~11:30 2回目植樹 150名/900本
場 場:	千葉県君津市戸崎2650-1 戸崎国有林
植樹本数:	1,800本 (ミツバツツジ、ヒメコマツ、コナラ等の17樹種)
主 催:	公益財団法人イオン環境財団
後 援:	君津市・林野庁関東森林管理局
協 力:	千葉大学・千葉県森林研究所・千葉県森林整備協会・千葉県森林組合・イオン各社
主な出席者:	君津市 市長 石井 宏子 様
	林野庁 関東森林管理局 局長 上大田 光成 様
	千葉大学大学院 園芸学研究科 教授 小林 達明 様
	公益財団法人イオン環境財団 副理事長
	イオン株式会社 代表執行役会長 岡田 元也

以上

ご参考

4月16日(金)



入山式



植樹地(植樹前)

4月17日(土)



君津市 石井市長



林野庁 関東森林管理局 上大田局長



イオン環境財団 岡田副理事長



イオンリテール(株)新入社員による植樹宣言



■公益財団法人イオン環境財団について

1990年「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと設立され、本年で30年を迎えました。時代とともに変化する環境課題に応じた事業を継続実施しており現在は「イオンの森づくり」・「助成」・「環境教育」・「パートナーシップ」の4事業を中心にステークホルダーの皆さまとともに環境活動を進めています。

<公益財団法人イオン環境財団ホームページ : <http://www.aeon.info/ef/> >

■イオンの森づくり

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。これまでの30年間、世界11カ国で植樹を行い、イオンの累計植樹本数は1,222万本を超えています。

<千葉県における森づくり>



浦安市(2015年)



千葉市 富田都市農業交流センター(2016年)



千葉市 泉自然公園(2018年)



九十九里浜(2019年)

2013年～2015年 浦安市植樹

東日本大震災時の液状化で噴出した土砂の処理が深刻な課題となっていたことを受け、この土砂を土壌の盛土として活用する植樹活動を実施しました。2013年から2015年の3年間の活動を通じ、2,100名のボランティアの皆さまと合計18,000本を植えました。

2016年～2018年 千葉市植樹

2016年に、千葉市富田都市農業交流センターで、第1回「千葉市植樹」を実施しました。地域ボランティアの皆さまやイオンチアーズクラブの子どもたちを含め、1,200名のボランティアの皆さまとクヌギ、コナヤマザクラなどの広葉樹8,000本を植えました。第2回は2017年に、第3回は2018年に泉自然公園(千葉市若葉区)で、野鳥の森の再生を目指し、植樹を実施しました。2年間で1,600名のボランティアの皆さまと合計17,000本を植えました。

■イオンの里山づくり

時代に即した環境課題の解決を目指すため、2020年9月に早稲田大学環境総合研究センター内に「AEON TOWA リサーチセンター」を設立しました。本研究所はこれまでの経験や知見、学術研究を統合し、持続可能な社会の実現を目指していくものです。森づくり、地域づくり人づくりに取り組み「地球環境の持続性」「人と生活の持続性」「地域社会の持続性」という観点から新たな「イオンの里山」の構築を目指します。

<AEON TOWA リサーチセンターホームページ:

<http://www.aeontowa.jp/>>

